

# 2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年 6月～2025年 5月)



## (砂)森ザコ川 砂防えん堤工事 その1

2025年 8月に完成した朝来市和田山町弥生が丘地内の砂防えん堤工事

工事概要 えん堤工 H=11.5m、L=52.4m

土工  
堤体工

一式  
2525.5m<sup>2</sup>

発行日 2025年 9月29日

## 目 次

項 目	頁
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
認証・登録の対象組織、活動	2
事業の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績（二酸化炭素排出量）	4
環境経営目標及びその実績（廃棄物ほか）	5
環境経営計画の取組結果とその評価	5
二酸化炭素排出量重点管理項目の推移	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果等	7
緊急事態対応訓練	7
代表者による全体の評価と見直し・指示	8
これまでの環境活動の紹介	8
編集後記	8

## □ごあいさつ

株式会社 山本組は1950年創業以来、地域に密着しながら兵庫県朝来市で公共工事を主体として砂防工事、道路工事等の施工をしています。

15年前にエコアクション21に基づく環境経営システムを導入し、環境に配慮した取り組みを積極的に行っておりその成果は年々向上しております。今後も環境への教育、取り組みを推し進め、環境負荷の低減に継続して取り組んでまいります。



## 環境経営方針

### <環境経営理念>

当社は一般土木工事分野で公共工事の施工を行っております。本業である土木工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

発注者、地域から信頼される施工を目指し、経営における課題とチャンスを定期的に明確化し、環境負荷の低減に向けて社員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーによる二酸化炭素排出量の削減を推進します。  
(電力、ガソリン、軽油使用量の削減)
3. 事務所の一般廃棄物の分別、削減を推進します。
4. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上と再生資源の利用を推進します。
5. 節水意識を高め、適正な利用により水使用量の削減に努めます。
6. 事務用品のグリーン購入を推進します。
7. 環境に配慮した施工に努めます。
8. 地域の一員として環境経営活動に積極的に参加します。
9. 本方針を協力会社も含めた全従事者に周知徹底します。

制定日 2019年 8月19日

改訂日 2024年 1月11日

代表取締役 山本政廣

## □組織の概要

作成日： 2025年 9月29日

### (1) 名称及び代表者名

株式会社 山本組  
代表取締役 山本 政廣

### (2) 所在地

本 社 兵庫県朝来市山東町早田 3 3 8

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	総務部長	足立 勝之	TEL : 079-676-4075
E A 2 1 事務局	業務管理課	西澤 鉄男	TEL : 079-676-4075

### (4) 事業内容

土木工事の施工 土木、ほ装、とび・土工、建築、管、水道施設工事業

### (5) 事業の規模

総売上高	498百万円(概算)	2025年06月～2026年 5月
主要工種売上高	土木一式	5,817万円
	とび・土工	39,072万円
	舗装工事	73万円
	塗装工事	1,367万円
	その他	3,524万円
従業員	13名	
延べ床面積	392㎡	
事業年度	6月1日 ～ 5月31日	

## □認証・登録の対象組織、活動

登録組織名： 株式会社 山本組  
対象事業所： 本社  
事業活動： 道路工事、砂防工事、農林土木工事、舗装工事、建築工事

ISO9001 認証機関 DNV Business Assurance Management System Certificate  
認証期間 2025年8月11日から2028年8月10日

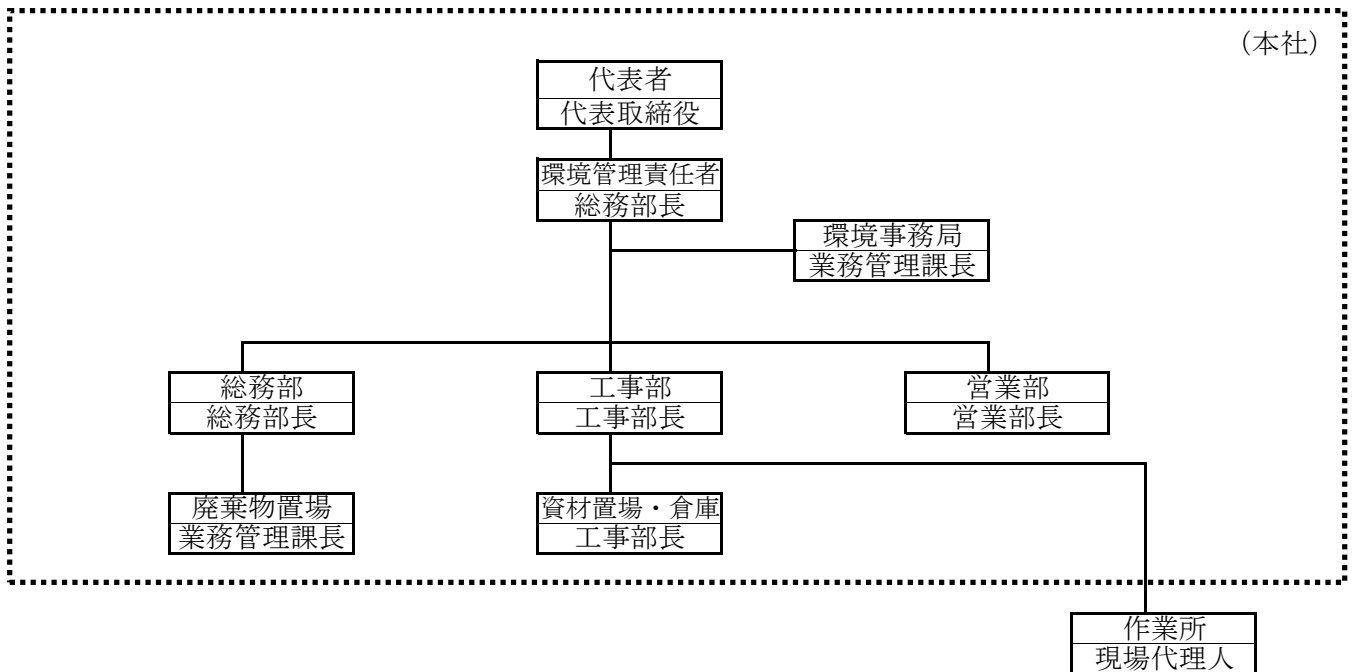
## □事業の紹介

砂防工事、急傾斜地工事、林道開設工事等を施工しています。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

作成日： 2023年 1月11日



	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境経営活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練を実施、記録の作成</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> <li>環境に関する苦情・要望等の受付及び誠実な対応(工事部門長)</li> <li>環境管理責任者への環境管理状況の報告(工事部門長)</li> </ul>
作業所 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加</li> <li>建設現場における緊急事態対応訓練の実施</li> <li>苦情・要望の受付</li> <li>環境に配慮した工事の施工</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2024年度	2023年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	141,825	84,100	118,352
①電力使用量(本社)	kWh	16,073	16,026	22,790
	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	6,735	6,715	9,549
②軽油使用量(工事)	L	40,975	18,241	27,760
	kg-CO <sub>2</sub> /L	107,532	47,871	72,852
③ガソリン使用量(工事)	L	11,567	12,251	14,273
	kg-CO <sub>2</sub> /L	26,855	28,443	33,136
④電力使用量(工事)	kWh	1,144	1,252	2,000
	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	479	525	838
⑤灯油使用量(工事)	L	90	212	791
	kg-CO <sub>2</sub> /L	224	528	1,971
⑥LPG使用量(工事)	kg		6	2
	kg-CO <sub>2</sub> kg		18	6
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.23	0.32	0.34
産業廃棄物排出量	トン	664	583	1,534
水使用量	m <sup>3</sup>	107	101	105

※二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力㈱の2023年度の係数

※化学物質は使用していない。

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績（二酸化炭素排出量）

項目	年度	基準値	2024年度			2025年度	2026年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	達成率	(目標)	(目標)
① 電力使用量の削減 (本社)	kWh	17,926	16,850	16,073		16,671	16,491
	kg-CO <sub>2</sub>	7,511	7,060	6,735	104.8%	6,985	6,910
	基準年度比(2018年度)		94.0%	89.7%		93%	92%
② 軽油使用量の削減 (工事部門)	L	31,495	29,605	40,975		29,290	28,975
	kg-CO <sub>2</sub>	82,654	77,694	107,532	72.3%	76,867	76,040
	基準年度比(2018年度)		94.0%	130.1%		93.0%	92.0%
③ ガソリン使用量の削減 (工事部門)	L	23,000	21,620	11,567		21,390	21,160
	kg-CO <sub>2</sub>	53,398	50,194	26,855	186.9%	49,660	49,126
	基準年度比(2018年度)		94.0%	50.3%		93.0%	92.0%
④ その他 (現場電力、灯油、LPG)	kg-CO <sub>2</sub>	1,240	—	703	—	—	—
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	144,803	134,948	141,825	95.2%	133,512	132,076

□環境経営目標及びその実績（廃棄物ほか）

項目	年度	基準値	2024年度			2025年度	2026年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	達成率	(目標)	(目標)
⑤ 一般廃棄物の削減	kg	439	413	236	174.9%	408	404
						93.0%	92.0%
⑥ 混合廃棄物の削減	kg	16,800	15,792	11,375	138.8%	15,624	15,456
						93.0%	92.0%
⑦ 建設副産物の再資源化率の向上	%	98.8%	98.0%	98.3%	100.3%	98.0%	98.0%
						—	—
⑧ 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	102	96	107	89.6%	95	94
						93.0%	92.0%
⑨ 課題とチャンスの推進 (工事成績85点の維持)	点	88.3	85.0	85.0	100.0%	85.0	85.0
						—	—
⑩ 環境に配慮した 工事の推進	件	5.1	4.0	5.2	130.0%	4.0	4.0
						—	—

□環境経営計画の取組結果とその評価

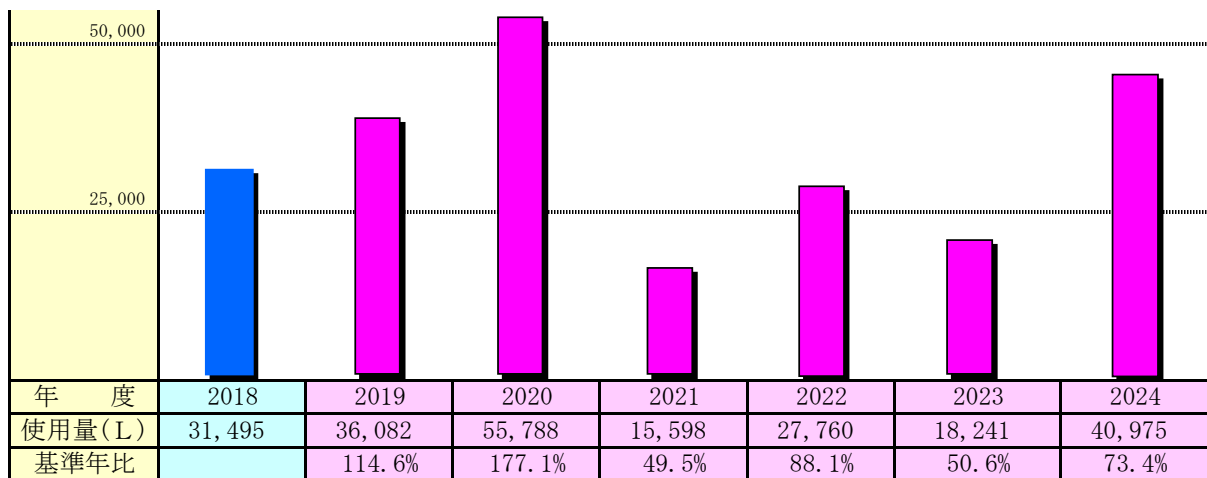
数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

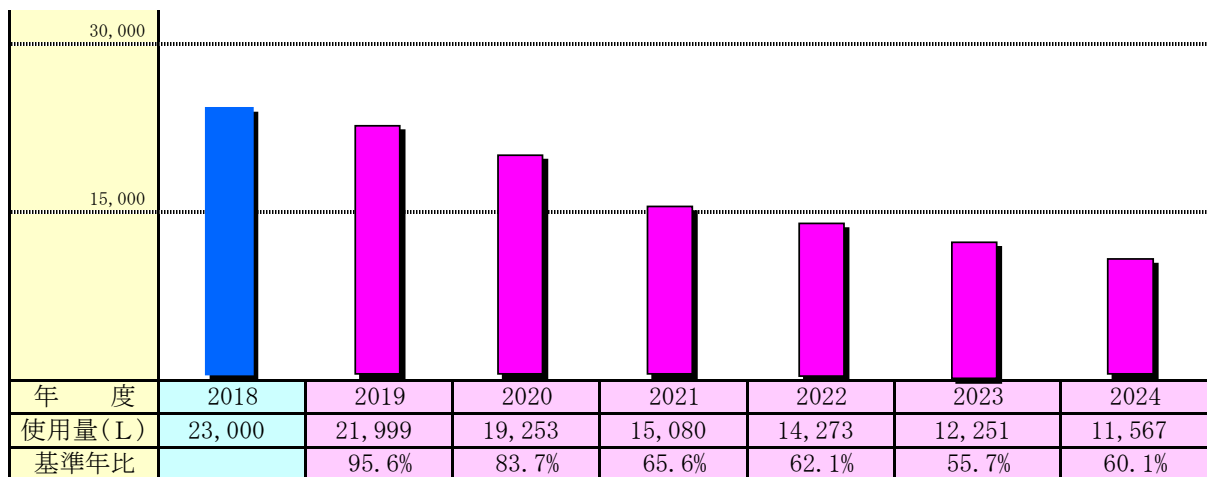
取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<b>電力使用量の削減(本社)</b> 数値目標 ○	○	ソーラーシステムにより事務所の電力使用量は確実に減少している。次年度も継続していく。
・冷房温度、暖房温度の管理 活動 ○	○	
・節電運動の継続		
・室内エコファッションの徹底		
<b>軽油使用量の削減(工事部門)</b> 数値目標 ×	×	後半、残土運搬で重機を多用したため軽油使用量が増加した。アイドリングストップ等の対策を再徹底する。
・アイドリングストップ 活動 △	△	
・エコドライブの徹底		
<b>ガソリン使用量の削減(工事部門)</b> 数値目標 ○	○	年間のガソリン使用量環境経営目標を達成した。次年度も継続していく。
・アイドリングストップ 活動 ○	○	
・エコドライブの徹底		
<b>一般廃棄物の削減</b> 数値目標 ○	○	今後も継続して推進していく。
・印刷ミスの削減 活動 ○	○	
<b>混合廃棄物の削減</b> 数値目標 ○	○	年間目標を達成した。今後も継続していく。
・分別の徹底 活動 ○	○	
<b>建設副産物の再資源化率の向上</b> 数値目標 ○	○	産業廃棄物の適正処理を今後も継続していく。
・分別、適正処理の徹底 活動 ○	○	
<b>水使用量の削減</b> 数値目標 ×	×	節水を再度徹底する。
・節水の継続 活動 △	△	
<b>課題とチャンスの推進</b> 数値目標 ○	○	今年完成した4現場の平均は85点と高い評価をいただいた。今後も継続していく。
・ISO9001(4.2、6.1)との融合 活動 ○	○	
<b>環境に配慮した工事の推進</b> 数値目標 ○	○	5つの作業所すべてで5件以上の環境配慮対策を実施した。今後も継続していく。
・環境配慮対策を4件以上実施 活動 ○	○	

## □二酸化炭素排出量重点管理項目の推移

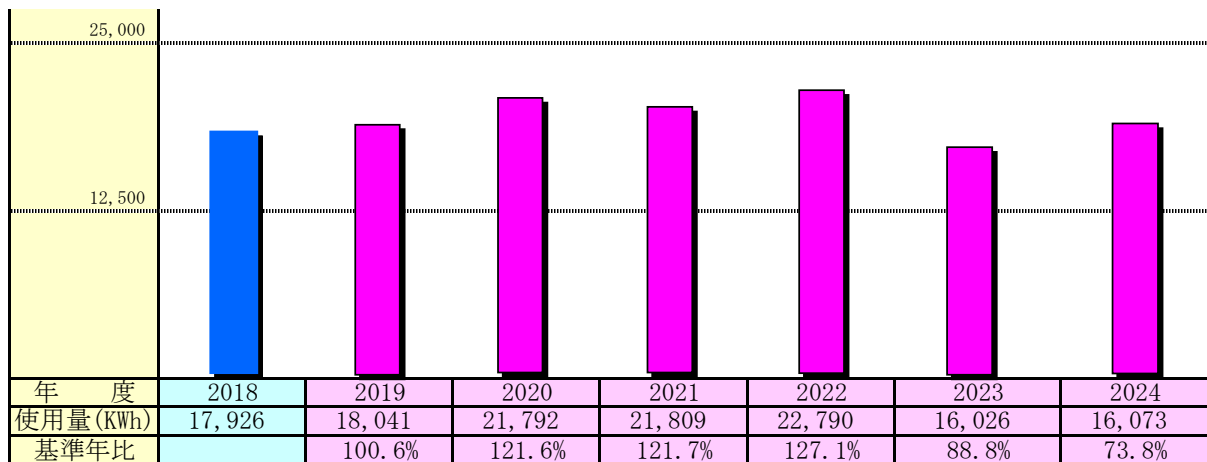
(1) 軽油使用量(工事部門) 基準年(2018年) 31,495 L 構成比(基準年) 57.0 %



(2) ガソリン使用量(工事部門) 基準年(2018年) 23,000 L 構成比(基準年) 36.8 %



(3) 電力使用量(本社) 基準年(2018年) 17,926 kWh 構成比(基準年) 5.4 %




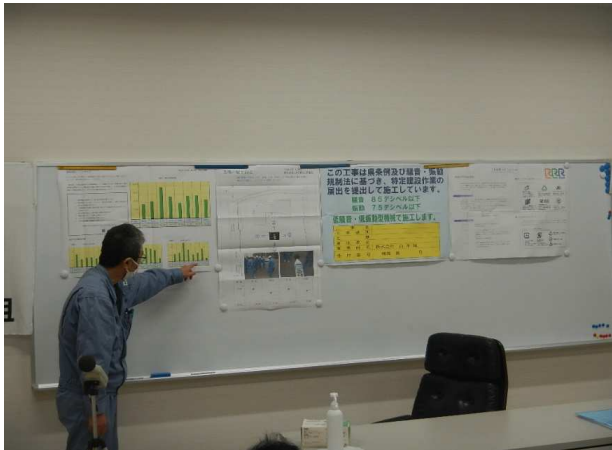
□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動及び規制事項等）	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬、中間処理、処分の委託書面契約、許可確認及びマニフェスト発行・管理。 多量排出事業者(年間1000 t 以上)となった場合、処理計画書及び実施状況報告書の提出  一般廃棄物の分別、保管、収集委託	○
建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律	解体工事、建設副産物	○
騒音規制法、振動規制法及び環境の保全と創造に関する条例	騒音を伴う建設工事 特定建設作業実施届の提出、騒音基準厳守	○
	振動を伴う建設工事 特定建設作業実施届の提出、振動基準厳守	○
フロン排出抑制法	空調機簡易点検記録の保存(廃棄後3年)及び廃棄時のフロン回収義務 解体時は事前調査、調査結果の書面説明、説明書写しの保存(工事終了後3年保存) フロン引き渡し・回収義務	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 建設現場の重大事故対応	
■実施日： 2025年 7月25日(金)	■実施場所：(株)山本組 会議室
■参加者： 全社員	■実施内容： 対応手順と予防処置
■評価： 建設現場の重大事故対応訓練を実施した。 実地火災訓練と油流出、火災、盛土崩壊について対応と予防処置を検討した。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況	
 	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年 7月23日

【前回の指示への取組結果】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にかかわる後継者の育成を推進していく。</li> <li>・協力会社、社内・現場内の環境教育を工夫してさらに発展させていく。</li> </ul>	
＜情 報＞	＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 ガソリン・軽油の高騰もあり化石燃料の使用量の削減をさらに推し進める必要がある。猛暑による社員の体調管理も徹底していく。	◇環境方針 現在も節電や化石燃料削減についての対策はすでに徹底しているが、環境教育をさらに発展させていく。
◇環境経営目標・計画の達成状況 軽油使用量と水使用量の経営目標が未達成となった。	◇環境経営目標・環境経営計画 二酸化炭素排出量削減目標の中でも軽油使用量の削減が最重要となる。社内・現場内の環境教育を協力会社も含めてさらに推し進め、重点管理していく。
◇その他 期間中に地域からの苦情等も発生していない。「環境コミュニケーション記録」も発行されていない。	社員が希望をもって成長し、山本組がさらに発展していけるような仕組みを検討していく。
I S O、エコアクションの経営管理システムを発展させ、品質の高い完成品を納品し環境対策と併せて発注者、地域からの信頼を獲得し事業をさらに発展させていく。そのための努力を環境対策とともに今後も継続していく。	

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

株式会社 山本組  
代表取締役 山本 政廣

## □これまでの環境活動の紹介



河川工事で汚濁防止フェンスを設置して下流への濁水流出を予防。



施工中の騒音・振動を測定しています。



## □編集後記

これまで経験したことのないような猛暑や集中豪雨が発生し、地球温暖化が年々進んでいると実感する。エコアクションへの取り組みを通して微力ではあるが活動を継続していく。

施工現場での軽油使用による二酸化炭素排出量が大きな割合を占めている。今後も化石燃料削減を重点項目に掲げた環境教育を推進していく。